

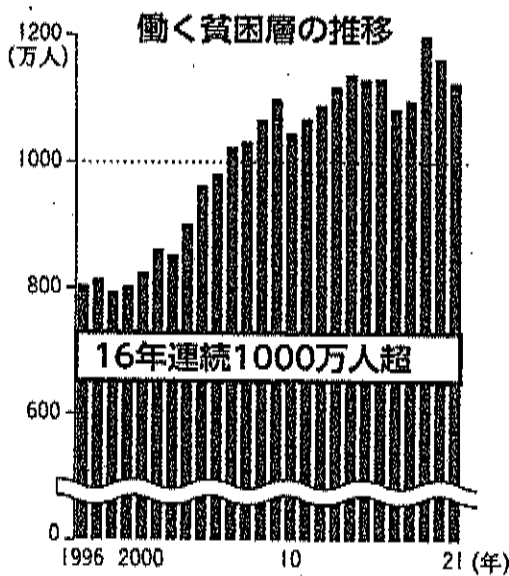
ワーキング・プア 16年連続1000万人超

国税庁が28日発表し、均賃金は前年比2・4%増の44・3万円、過去最高だった1997年の57・7万円とは、3年ぶりの増加に転じ、年間を通じて働きました。女性の平均賃金も年収200万円以下は過去最高の30・2%増の1万9千円、初めて300万円の「ワーキング・プア(働く貧困層)」は1万2千6百22万人でした。男性の55%程度に前年に比べ38・4万人とどまり、依然として減ったものの、16年連続で1000万人を超えました。

また、民間企業で働く人が1年間に得た平均賃金は45万円。02年以来の水準となりましたが、

男性の平均賃金は5

過去最高だった1997年の57・7万円とは



また開きがあります。伸びているものの、2000万円にも届かない正社員は508万人、パートやアルバイトを含む正社員以外は108万円でした。正社員以外の賃金水準は最低賃金の上昇や人手不足、同一労働同一賃金の導入などによって、最も低かったのは宿泊や飲食サービスで260万円。同3・3%増と新型コロナウイルスの影響から回復しつつある状況も浮かびました。

民間の賃金所得者数は5931万人。賃金総額は225兆4195億円で、同2・8%増でした。